

2025年度

論述（総合）問題

（問 題）

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～3 ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
4. 受験番号、カナ氏名、氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・カナ氏名・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
5. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

（記入例）

5 7 0 0 1 番



万	千	百	十	一
5	7	0	0	1

（数字見本）

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

解答作成上の注意

1. 解答文は、所定の解答用紙におさまるように、日本語で書きなさい。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。（句読点、記号等は、必ず独立した1マスを使用する。）
3. 解答は横書きとし、楷書で左から右へと書くこと。
4. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
5. 解答用紙は汚したり、折り曲げたり、破ったりしないこと。
6. 下書きは、別に配付の下書き用紙を使用すること。試験終了後、下書き用紙は持ち帰ること。

問題 次の文章は、日本における少子化問題についての教授と学生のあいだの会話である。図表を参照しながらこの文章を読み、以下の問いに答えなさい。

教授：日本では人口減少に歯止めがかかっていないのを知っているかい。以前は、2020年の出生数は100万人を下回らないと予測されていたんだが、実際の出生数の減少は予測を上回る速度で進行していて、2020年の出生数は84万835人と、統計開始以来の最少の数字となってしまったんだ(1)。

学生：日本人の数が減れば、電車とかディズニーランドとかが混まなくなるからいいじゃないですか。このまま少子化が進んで、人口が減少するとなにかまずいことがあるのでしょうか。

教授：少子化が進むと、日本の経済・社会システムを維持することが難しくなるかもしれないよ。特に、2030年代に入ると若年人口が急激(a)に減少するようになってしまうと予想されているんだ。(c)、現在が2030年代に入るまでにこの少子化傾向を反転させることができるかどうかの重要な分岐点なんだよ。

学生：そもそも何が原因で少子化が生じているのでしょうか。

教授：成人男女の未婚率の上昇(b)に加えて、晩婚化が少子化の主な原因として考えられているんだ(2)。

学生：そうなんですね。昔と比べて今の若い人は結婚しないのか。しかも、結婚する年齢も遅くなっているのですね。

教授：そうなんだよ。(d)、結婚したくないという人が増えているわけでもないし、子どもを持ちたくないという人が増えているわけでもないんだよ。実際に若い世代の8割を超す未婚の男女が、いずれ結婚することを望んでいるんだ。また、多くの夫婦が2人以上のこどもを育てることを理想としているように、若い世代の人たちは希望や理想を持っているんだが、結婚や子育ての将来展望を描けない状況にあるんだ(3)。

学生：少子化問題の重要性がだんだんわかってきました。これから結婚や子育てをする予定の人だけではなくて、現在すでに子育て中の人にとってもやさしい社会になることが大切ですね。

教授：そのとおりだね。いまは、子育てがしづらい社会環境や、固定的な性別による役割分担の意識などを背景とした仕事と子育てを両立しにくい環境があるんだ(4)。それに加えて、子育ての経済的・精神的負担感も存在するしね。若い世代が将来に明るい希望を持てる社会をつくらない限り、少子化傾向の反転は難しそうだね。

問1 A 下線(a)、(b)の読み仮名を、平仮名で書きなさい。

B (c)、(d)に最もふさわしい言葉を以下の選択肢から選び、記号で答えなさい。

イ：ところで

ロ：けれども

ハ：つまり

ニ：さらに

ホ：だから

ヘ：いつでも

ト：あるいは

チ：それにもかかわらず

問2 以下の文のうち、上記の会話の内容と図表に照らし合わせて最も適切なものを2つ選び、記号で答えなさい。

イ：日本における出生数は2015年に初めて100万人を下回った。

ロ：日本における出生数は2015年に初めて5年前の2010年と比べて増加した。

ハ：2030年には通勤による電車の混雑は解消される。

ニ：2040年には通勤による電車の混雑は解消される。

ホ：日本人では結婚しない人が増えたり結婚する年齢が上がったりしている。

ヘ：日本人では結婚しない人が増えているが、結婚する年齢は下がっている。

ト：少子化対策には医学の発展が大事である。

チ：少子化対策には子育てしやすい社会をつくるのが大事である。

問3 下線(1)を、関連する図表を適切に引用しながら5行程度で説明しなさい。

問4 下線(2)の内容について、関連する図表に基づいてグラフで表しなさい。

問5 下線(3)のように教授が考える理由を、関連する図表を適切に引用しながら5行程度で説明しなさい。

問6 下線(4)に関連し、固定的な性別による役割分担の意識などを背景とした仕事と子育てを両立しにくい環境を改善するにはどのような対策が必要か。関連する図表を適切に引用しながら自分の考えを10行程度で述べなさい。また、自分の考えに20文字以内のタイトルをつけなさい。

表1. 日本における出生数と合計特殊出生率の推移

西暦(年)	出生数(人)	合計特殊出生率*
1975	1,901,440	1.91
1980	1,576,889	1.75
1985	1,431,577	1.76
1990	1,221,585	1.54
1995	1,187,064	1.42
2000	1,190,547	1.36
2005	1,062,530	1.26
2010	1,071,305	1.39
2015	1,005,721	1.45
2020	840,835	1.33

*合計特殊出生率とは「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

1. ※出典は下記に記載しております。

表3. 日本における平均こども理想数と平均予定こども数の推移(人)

西暦(年)	平均理想こども数	平均予定こども数
1977	2.61	2.17
1982	2.62	2.20
1987	2.67	2.23
1992	2.64	2.18
1997	2.53	2.16
2002	2.56	2.13
2005	2.48	2.11
2010	2.42	2.07
2015	2.32	2.01
2021	2.25	2.01

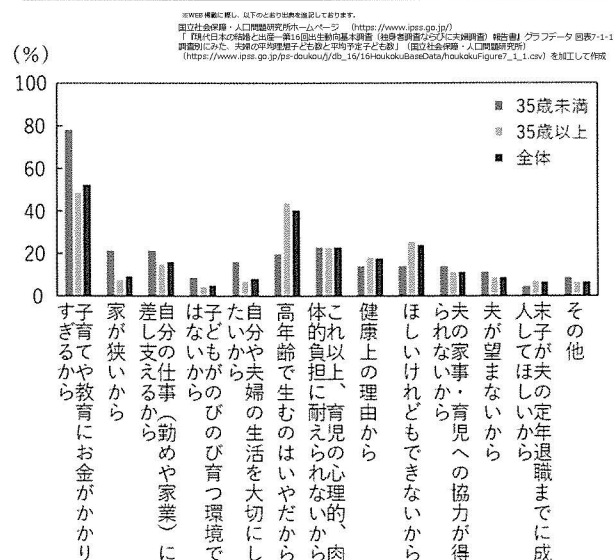


図1. 妻の年齢別の理想の数の子どもを持たない理由

表2. 日本における妻夫別の平均初婚年齢の推移

西暦(年)	平均初婚年齢(歳)	
	妻	夫
1975	24.7	27.0
1980	25.2	27.8
1985	25.5	28.2
1990	25.9	28.4
1995	26.3	28.5
2000	27.0	28.8
2005	28.0	29.8
2010	28.8	30.5
2015	29.4	31.1
2020	29.4	31.0

2. ※出典は下記に記載しております。

表4. 夫の平日の家事・育児時間別にみた妻の出産前後の継続就業の割合(%)

夫の平日の家事・育児時間	同じ職を継続	転職	離職	不詳
全体	70.0	10.6	18.3	1.1
家事・育児時間なし	51.4	13.5	35.1	—
2時間未満	67.4	11.5	20.4	0.7
2時間以上4時間未満	73.4	8.5	16.6	1.5
4時間以上	80.8	6.4	11.5	1.3

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
政府統計の総合窓口(e-Stat) (https://www.e-stat.go.jp/) 「政府統計 第10回1世代成年者結婚調査
この年間に子どもを生んだ夫婦別にみた結婚前の就業状況、出生前、出産後の妻の家事・育児時間(平日・休日)、
(再婚)出産前の妻の就業、再婚後、出産後の妻の就業状況の有無」(厚生労働省)
(https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statinfId=00002256179&kind=1) を加工して作成

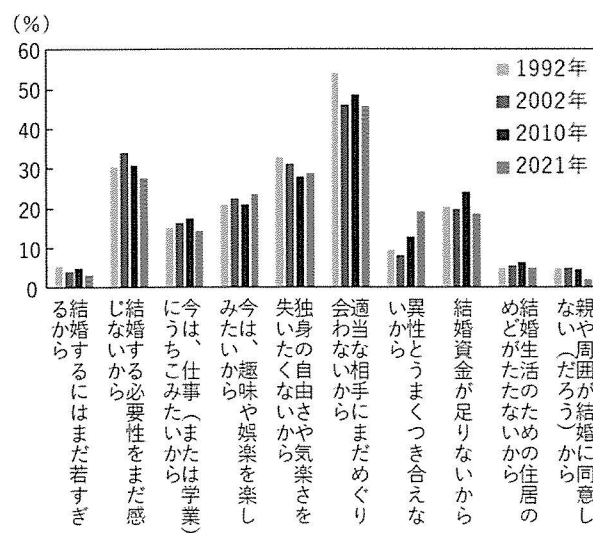


図2. 25～34歳の未婚者が独身でいる理由

(以下余白)

1. ※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

厚生労働省ホームページ

(https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei22)

統計表「第2表-1 人口動態総覧の年次推移、

第2表-2 人口動態総覧(率)の年次推移」(厚生労働省)

(https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei22/xls/hyo.xlsx) を加工して作成

- 3 -

2. ※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

政府統計の総合窓口(e-Stat)

(https://www.e-stat.go.jp/)

「『現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査)ならびに夫婦調査』報告書」グラフデータ 図表1-3-2

調査にみた、各「独身でいる理由」を挙げた未婚者の割合(「国立社会保険・人口問題研究所」)

(https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/db_16/16HoukokuBaseData/houkokuFigure1_3_2.csv) を加工して作成

「『現代日本の結婚と出産—第16回出生動向基本調査(独身者調査)ならびに夫婦調査』報告書」グラフデータ 図表1-3-2

調査にみた、各「独身でいる理由」を挙げた未婚者の割合(「国立社会保険・人口問題研究所」)

論 述 (総 合) 問 題 解 答 用 紙

受験 番号	万	千	百	十	一
お氏名					
氏名					

(所定の欄以外に受験番号・カナ氏名・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある)

2025年度

論述（総合）問題
（解答用紙）

No.

1

 /

1

採 点 欄

[illegible][illegible]

1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50
51	52
53	54
55	56
57	58
59	60
61	62
63	64
65	66
67	68
69	70
71	72
73	74
75	76
77	78
79	80
81	82
83	84
85	86
87	88
89	90
91	92
93	94
95	96
97	98
99	100

問 1

A	(a)	(b)
B	(c)	(d)

問 2

--	--

問 5

問 3

問 4

A blank sheet of graph paper with a light gray grid pattern. The grid consists of small squares. There are faint horizontal and vertical lines forming the grid. The paper has a white background.

問 6 ・ 本文

[illegible]

問6・タイトル

[illegible]